

ルールを守り楽しいふれあいを 11/25

中川根南部小学校で動物愛護教室が開かれました

動物愛護の精神の高揚を図り、かまれる事故を防止することを目的に、中川根南部小学校で動物愛護教室が開かれました。

当日は、県動物愛護協会会員と中部保健所職員が講師を務め、動物愛護ボランティアと飼い犬も来校しました。児童らは、動物愛護に関する法律や犬との接し方について講師から説明を受けたあと、聴診器型の機械で代表児童と犬との心音を聞き比べました。最後に、児童らは4つのグループに分かれて、5匹の犬とのふれあいを楽しみました。



ボランティアの手ほどきで犬とのふれあいを楽しむ児童

11/9

伝統農法の実践茶園を訪問

茶草場農法の見学ツアー(富士山だけじゃない! 静岡の世界遺産)が開催されました



▲趣のあるお椀でお茶を楽しむ ▲茶草入れの作業を見物

世界お茶まつりツアーに合わせ「天空の茶草場と川根の茶園景観を巡る旅」が(株)そふと研究室(坂野真帆社長)の主催で開催されました。

県外からの参加者を含む17人がつちや農園(尾呂久保)を訪れ、園主で茶草場農法実践者の土屋鉄郎さんから農法についての説明を受け、すすきを束ねた「かっぽし」や茶園などを見学しました。その後、土屋さんの長女で日本茶インストラクターの資格を持つ裕子さんが呈茶を行い、参加者は全国品評会で2等に輝いた入賞茶を楽しみました。

火災対応の連携強化を目指して 11/10

町消防団と川根北分遣所が連携強化講習会を実施

町消防団と川根北分遣所は、連携強化のための講習会を文化会館ホールで行いました。

救急事案が増加し火災発生時の人員不足が懸念されていることから、団員の知識や技術力の向上と連携強化を目的に分遣所職員が講習を行いました。講習では映像を交えながら火災の進展状況に応じてとるべき具体的な対応について説明があり、協力体制の確認を行いました。

山崎分遣所長は「迅速な火災対応と被害の軽減には団員の協力が不可欠。今後も連携体制を確認し、地域の安全を守りたい」と話しました。



実災害を想定し、より実践的に説明する分遣所職員

「珍しい風景」ぜひ楽しんで 11/25

大間ダム修繕工事に伴う、ダム湖水抜きの実施

夢の吊り橋が架けられている中部電力大間ダムの修繕工事に伴うダム湖の水抜き作業が行われました。湖底があらわになるのは11年ぶり。26年2月末には修繕が終了し、元の美しいエメラルドグリーンの湖面が戻る予定です。

まちづくり観光協会望月会長は「めったに見られないチャンス。珍しい風景を楽しんで」と話し、視察のため来日中の県東南アジア駐在員事務所・現地スタッフのエイミ・ヘイさんは「美しい風景と珍しい風景を合わせてシンガポールから発信したい」と笑顔で話してくれました。



大間ダム湖底から「夢の吊り橋」を撮影

11/25

「税に関する作品」町内小中学生が受賞

積極的な作品応募により町内4小学校にも感謝状が授与されました



鈴木町長から川根本町長賞を受け取る峠下(ほつした)さん

島田税務署管内の納税貯蓄組合連合会は、本年度の「税に関する作品」の入賞者表彰式を島田市の夢づくり会館で開催しました。

作文の部では、本川根中3年の石原詩歩美さんと石原愛澄美さんが、それぞれ県納税貯蓄組合連合会優秀賞と島田税務署長賞に輝いたほか、中川根中1年の澤口一輝さんが県藤枝財務事務所長賞を、2年の榎田萌華さんが川根本町長賞を受賞しました。また習字の部でも、本川根小6年の峠下芽生さんが川根本町長賞を受賞し、鈴木町長から表彰状を授与されました。

「おれおれ詐欺」にご注意を 11/17

県警マスコット「エスピーくん」も被害防止を呼び掛け

「おれおれ詐欺」の被害防止キャンペーンが寸又峡温泉街で実施され、島田警察署員や地域安全推進員ら10人が参加しました。

紅葉鑑賞に訪れた観光客や地元住民に注意を呼び掛けることが目的で、参加者は「振り込め詐欺に注意」と書かれたチラシや反射たすきを観光客に配布したほか、地区内の飲食店やお土産屋、旅館を訪ね、店主や従業員らに詐欺手口を紹介して回りました。

キャンペーンには県警マスコット「エスピーくん」も参加し、被害防止を呼び掛けました。



お土産屋の店員に注意喚起グッズを手渡す「エスピーくん」